

# 第7章

## 生活関連施設の被害と復旧

# 第 1 節 電力施設(九州電力株式会社鹿児島支社)

## 第 1 項 被害の状況

### 1 電力施設の被害及び停電

6 kV配電線の停電事故については、支社管内では奄美大島で3回線の配電線の一部で停電し、最大停電戸数1.5千戸(2日23時～3日1時)となった。

### 2 設備被害

< 配電設備被害 >

設 備	支持物 (本) [折損, 流出, 転倒, 傾斜]	電線断混線 (箇所)	倒木他 (箇所)
被害状況	50	14	209



配電設備被害状況(瀬戸内町阿木名)

## 第2項 電力施設の応急復旧

### 1 土砂崩れ箇所の応急送電

奄美大島南部を中心に、山の斜面崩落、土砂崩れ、道路決壊等による電柱流出、電柱折損、電線断線など、様々な被害に伴う停電が発生した。いずれの被害箇所も奄美営業所の社員及び委託工事会社社員が急行し、復旧作業にあたった。電柱流出箇所の間引きによる送電、電柱の根元補強や断線した電線を応急的につなぎ合わせる等して、可能な限り早期に送電する応急送電を実施した。

また、加計呂麻島など土砂崩れによる停電に対しては、通行止めによる通行規制が敷かれたことから、チャーター船を利用し被害箇所へ移動することで、早期応急送電を実施した。

### 2 床上浸水家屋の漏電調査対応

今回の水害で、床上浸水した家屋を対象に、漏電防止の観点から、住民宅を一戸一戸訪ね「漏電調査」のローラー作戦を実施した。

漏電調査は、延べ22名の当社社員及び関係会社や電気工事組合の協力により、約200戸を2日間で実施した。

## 第 2 節 水道施設

### 第 1 項 被害の状況

水道施設の被害は、土砂流入による水源・取水口の埋没や導水管等の破損が、瀬戸内町で12箇所発生し、断水は、3,239戸に及んだ。

今回の大雨による被害の概要

	被災箇所	被害発生状況	断水の影響		被害額 (千円)
			戸数	人口	
1	瀬戸内町上水道	土砂流入による取水口埋没	2,486	4,743	500
2	瀬戸内町節子地区簡易水道	導水管の破損	87	144	100
3	瀬戸内町嘉鉄地区簡易水道	停電による施設停止	126	210	200
4	瀬戸内町西部地区簡易水道	導水管破損	35	61	40
5	瀬戸内町手安地区簡易水道	土砂流入による水源沈砂池埋没	69	139	100
6	瀬戸内町清水地区簡易水道	取水口・導水管破損	120	223	2,000
7	瀬戸内町諸鈍地区簡易水道	給水管破損	107	193	30
8	瀬戸内町西阿室地区簡易水道	導水管破損	67	116	300
9	瀬戸内町秋徳地区簡易水道	導水管破損	39	70	300
10	瀬戸内町瀬相地区簡易水道	土砂流入による取水口埋没	30	63	300
11	瀬戸内町久根津地区 飲料水供給施設	土砂流入による取水口埋没	31	61	30
12	瀬戸内町俵地区飲料水供給施設	導水管の破損	42	64	100
計			3,239	6,087	4,000

### 第 2 項 災害応急対策

水道の断水は、飲料水をはじめ炊事、洗濯、トイレ等、住民の生活用水の確保に障害を与えたが、速やかな応急復旧作業により断水時間が短時間で解消されたため、応急給水活動には及ばなかった。

## 第3節 通信施設

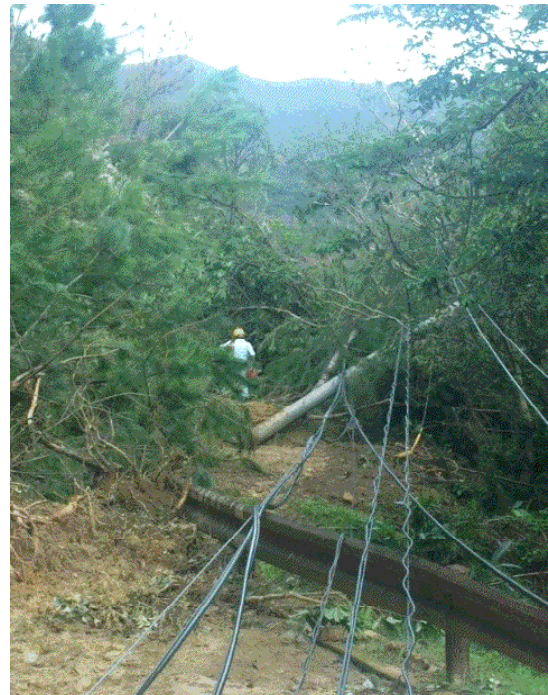
### 第1項 (株)NTTドコモ九州支社鹿児島支店

#### 1 被害の状況

平成23年11月2日の豪雨災害による土砂崩壊及び道路決壊等により、電柱倒壊及び光ケーブルが切断され8集落で携帯電話が使用しづらくなった。

11月4日夕方に切断した光ケーブルを繋ぎ込み回復した。

発生日時	回復日時	被害設備	サービス影響地区
11月2日 9時11分	11月3日 15時14分	阿木名支線ルート 光ケーブル切断	阿木名地区の一部
11月2日 15時7分	11月4日 15時7分	嘉鉄分線ルート 光ケーブル切断	伊須地区，網野子地区，節子地区， 勝浦地区，蘇刈地区，嘉鉄地区， 影響地区



瀬戸内町嘉鉄地区，土砂崩れによる電柱倒壊，及びケーブル切断

#### 2 災害応急対策

阿木名支線ルートについては、応急復旧光ケーブル(8芯)の仮設工事を行い、11月3日にサービス回復した。

嘉鉄分線ルートについては、応急復旧光ケーブル(8芯)の仮設工事を行い、11月4日にサービス回復した。

## 第4節 ガス施設

### 第1項 被害の状況

- 1 発生場所 瀬戸内町古仁屋  
LPガス容器の種類：50K 6本  
流出又は埋没の有無：埋没  
回収状況：全て回収済  
被害の概要：診療所の裏山でがけ崩れが発生，貯蔵設備（LPガス容器）が半分土砂で埋没
  
- 2 発生場所 奄美市名瀬  
LPガス容器の種類：20K 2本  
流出又は埋没の有無：埋没  
回収状況：全て回収済  
被害の概要：家屋の床上浸水による土砂埋没

### 第2項 災害応急対策

今年9月に発生した集中豪雨と同様に，いち早く奄美支部長を中心とする対策本部を設け，支部役員とガス販売事業所の従事者等が中心となり，消費者宅に設置しているガス設備の状況把握のために巡回を行った。

今回も迅速な復旧作業が実施され，ガス漏えいに伴う2次災害の発生もなかった。これは，前回同様に安全機能が組み込まれたマイコンメーターが大いに働いた成果と推測されている。

今回の雨量は，「記録的短時間大雨情報（1時間に100ミリ以上の大雨）」が11月2日に3回も発表されたものであった。家屋の崩壊や床上浸水で，多数の容器の埋没や流失が懸念されたが，幸いに容器の埋没は2件の発生にとどまった。容器の流失が無かったことは，容器を固定するためのクサリの設置と強い引っ張りに耐えられる高圧ホースでの接続が防いだ効果だと思われる。

また，今回も避難所に対するガス供給を行うために「災害時における応急生活物資の供給に関する協定」を発動し，無償でガス提供を行った。

## 第5節 交通機関

### 第1 航路

#### 1 運航状況

名瀬～古仁屋間の道路が不通となったことを受け、鹿児島～喜界～知名航路を運航する奄美海運株式会社は、通常古仁屋港へは寄港しない知名便上り便について、11月6日に古仁屋港へ臨時的に寄港した。

### 第2 バス（道の島交通）

#### 1 被害・復旧の状況

11月2日に奄美市住用町内において、道路が寸断された区間に乗員・乗客を乗せたバス計2両が取り残され、一時、避難所への待避を余儀なくされたが、まもなく道路が復旧、脱出した。

#### 2 運行状況

11月2日は、崩土や路面冠水などにより、各地で道路通行規制が実施されたことに伴い、古仁屋、宇検、住用方面の一部の便で運休が発生したが、古仁屋線を除き、同日中に運行が再開された。

古仁屋線については、11月3日から迂回運行により運行が再開され、国道58号の復旧に伴い、同月4日から通常運行が再開された。